

特集

つうがくろ 通学路を みまも 見守る



毎日、毎朝、通行に注意が必要な場所に立ち、子どもたちが安全に登校できるように見守ってくれている人がいます。

問秘書広報課

安全に登校できるように

市内では、交通安全指導員の皆さんをはじめ、子ども会やPTAの皆さんが、子どもたちが安全に登校できるように見守ってくれています。

そうした人たち以外にも、自ら思い立ち、通学路の注意が必要な交差点や横断歩道で目印の黄色い旗を持ち、ボランティアで見守り活動を行っている人たちがいます。

今回は、子どもたちの見守りを行っている皆さんのうち、市民表彰を受けた皆さんの活動について掲載します。

小学生の道路横断に注意

福岡県警察本部の「幼児・小学生に関する交通事故発生状況等について（平成29年から令和3年までの5年間）」によると、小学生の交通事故の特徴として、歩行中の事故が約6割、自転車乗用中の事故が約3割となっています。時期は6月、時間帯は16～17時台が最多、学齢では小学1年生が約3割を占め最多、道路横断中の事故が最も多くなっています。

なお、市内の交通事故件数は、減少傾向にあり、子どもの事故件数についても同様です。

●歩行者は

▽横断するときは、止まって、見て、手を上げるなど合図を出して車が確実に停止するのを待って、渡りましょう。

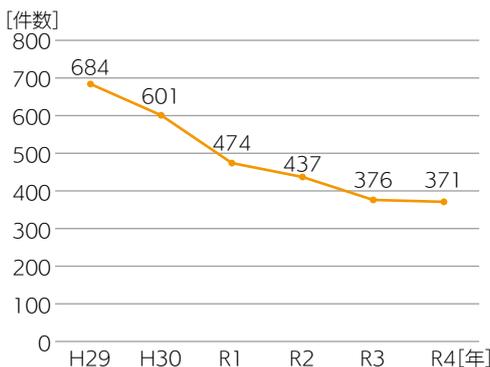
▽夕暮れ時や夜間に外出するときは、明るい服装や反射材を着用しましょう。

●運転者は

▽スピードを控え、周囲の安全を確認して運転しましょう。

▽横断歩道に歩行者がいるときは、手前で一時停止してください。

筑紫野市内の交通事故発生件数の推移



(福岡県警察交通事故統計より)



自動車に合図を送り、歩行者・自転車の横断を知らせます

山元光長さん
山元ひとみさん(ともに次田区)

見守りは元気なあいさつから

10年に一度と言われる冷え込みとなったこの日、筑紫野市内も積雪と道路の凍結が多く見られました。道行く人は凍った路面で滑らないように歩を進めていました。

「おはよう！滑るから気をつけてねー」

寒さを感じない元気な声が響きます。次田区の山元ひとみさんと山元光長さんの二人です。横断歩道の両側に立ち、常に周囲の安全に気を配りながら、通る子どもたちにあいさつの声掛けをします。

始まりは学校からの依頼で

山元さんが登校の見守りボランティアを始めて15年になります。子どもたちのために何か役に立てないか、とひとみさんが二日市中学校の学校支援ボランティアに登録したことがきっかけでした。学校から事故が多かった交差点で見守りを依頼さ



山元 光長さん(右)平成23年度から次田区区長を務める。

山元 ひとみさん(左)平成19年から次田地区の民生委員・児童委員を務める。

れました。一人で行っていた見守りでしたが、あるとき区長である夫の光長さんを誘い、二人で行うようになりました。

山元さんが見守る横断歩道は、県道112号の二日市八幡宮前交差点近くの交差点。通学路でもあり、自動車だけでなく通勤・通学の人が多く通ります。二つの道路が交差し、さらに脇道もあり、あちらこちらから自動車、自転車、歩行者が通り、見守り中は気が抜けません。

朝は交通量が多く、天拝坂、塔原、六反方面からの二日市中学校や九州産業高校などへ向かう生徒と、反対に武蔵台高校・福岡農業高校へ向かう自転車通学の生徒が行き交うため、自転車同士がぶつからない心配だといいます。

子どもたちからの感謝に感激

天候が悪いときでも見守りを行っています。暑さ寒さよりも、雨の日の風が強いときが大変、と話します。急いでいるドライバーから苦情を言われることもあります。しかし、卒業生から感謝の花束をもらったり、

お礼を書いた感謝状をもらったこと。見てくれてたんだ、やってよかった、と感じたそうです。

学校支援ボランティアとして、今でも気づいたことをレポートにして毎月中学校に提出しているひとみさん。子どもたちに伝えたいことを聞くと、「自転車の中学生と高校生、交差するときはお互いに気をつけて通ってほしいですね」。

今後については、「元気なうちは続けていけたら」と話してくれました。



城戸 チエ子さん(松ヶ浦区)

朝は元気なあいさつから

城戸さんが立つ交差点は、西鉄紫駅方面から国道3号の高雄交差点に続く県道65号に、松ヶ浦方面からの道路が交差します。通勤・通学の時間帯は、自動車や、横断歩道を渡る自転車、歩行者が絶え間なく続きます。見通しが悪く、気づけばすぐ近くに來ていることがあります。

交通安全の見守りは、先輩の民生委員・児童委員と始めました。今は一人となりましたが、始めて12年になります。民生委員・児童委員としても5期目となった城戸さん。朝7時20分ごろから中学生の登校が終わる8時30分までの約1時間。雨の日も雪の日も見守りを続けています。今では道行く人、子どもたちが顔



城戸 チエ子さん



自動車の状況を見ながら歩行者を安全に通します

なじみとなつて、声をかけてくれます。始めたときに小学生だった子どもたちが修学旅行のお土産やお礼の手紙を受け取ったときは、やってよかったと感じたそうです。また、「立ち始めてから事故が起きていないことがうれしい」と話し、「次の人が見つかるまでは続けたい」と話していました。

今日も「おはよう！」と声掛け、自動車には「譲ってくれてありがとう」とお礼を言う城戸さん。子どもたちには「遅刻しないように学校に行つてほしい」と話していました。

田村 貞記さん(針摺区)

朝倉街道駅前での見守り

寒波の続く朝です。西鉄朝倉街道駅前の踏切のすぐ横では、交通安全を呼びかける黄色い服と帽子、横断旗を持った針摺区の田村 貞記さんが子どもたちを誘導しています。

「ここは踏切もあり、いろいろな方向から歩行者、自転車、自動車が来ます」と話す田村さん。朝倉街道駅前の県道112号とJR天拝山駅方面への道、線路の脇道と多くの道路が交差します。

登校する子どもたちは、安全のため立ち止まり、田村さんが確認してから道路を横断して進んでいきます。

針摺地区の民生委員・児童委員としても活動している田村さん。警察



田村 貞記さん



大きく手を広げ、安全を確保します

官の経歴を生かして、地域のためにできることを、と始めた子どもたちの見守りは10年を超えました。踏切や横断歩道で行っていました。危険度が高いと判断した現在の場所で見守りを行っています。

「自動車の人には徐行してもらって、一旦停止のところはしっかり止まって、安全を確認してから進んでもらいたいです。自転車も左側通行を守って。できないときは押し歩いて安全に通ってもらいたいですね」と話していました。

おはよう！ 行ってらっしゃい



筑紫南(美しが丘北区)



御笠(みかさ台区)



二日市(京町区)



二日市東(俗明院区)



二日市東(紫ヶ丘区)



筑紫(筑紫区)



山口(山口区)



筑紫(岡田区)



山家(山家6区)

表示は、コミュニティ区域とお住まいの行政区

日々の見守りに「ありがとう」

今回は、ボランティアの皆さんによる通学路での見守りを掲載しました。ご存じのとおり、掲載した皆さん以外にも、市内では多くの場所でも多くの皆さんが毎日子どもたちの登校を見守り、日常生活を見守ってくれています。

寒さの厳しい朝、見守りの皆さんから聞いたことは、「子どもたちの成長を見ることができるから」「毎日、孫に会えると思えば(苦にならない)」という言葉でした。続けていてよかったと感じたことは、「子どもたちからお礼を言われたこと」「(見守りで)事故が起きていないこと」。子どもたちを大切に思う気持ちが伝わってきました。

もうすぐ、春の訪れとともに1年生の登校が始まります。初めての学校に元気に通えるように。筑紫野市には、多くの人が見守りを行っていること、子どもたちに毎日「おはよう！行ってらっしゃい」の声かけをしてくれる人がいることを知ってもらえたらと思います。